

精神作用物質使用による 精神および行動の障害対策 に向けて

ー現状と進めるべきことー

国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部
和田 清

ー第1回 依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会ー

1

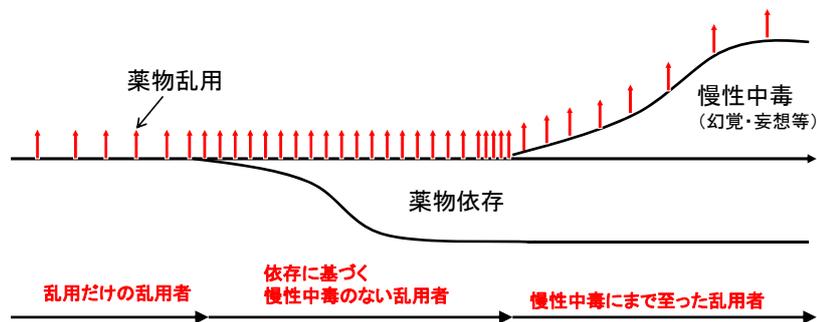


図3 薬物乱用・薬物依存・薬物中毒の時間的關係

2

脳内報酬系の主座

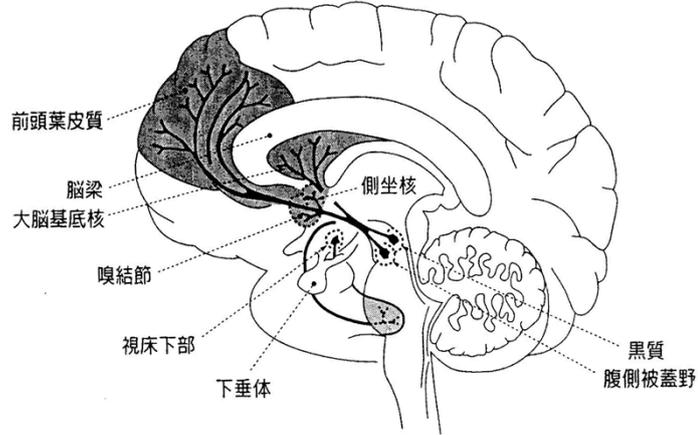


図2 脳内報酬系の主座

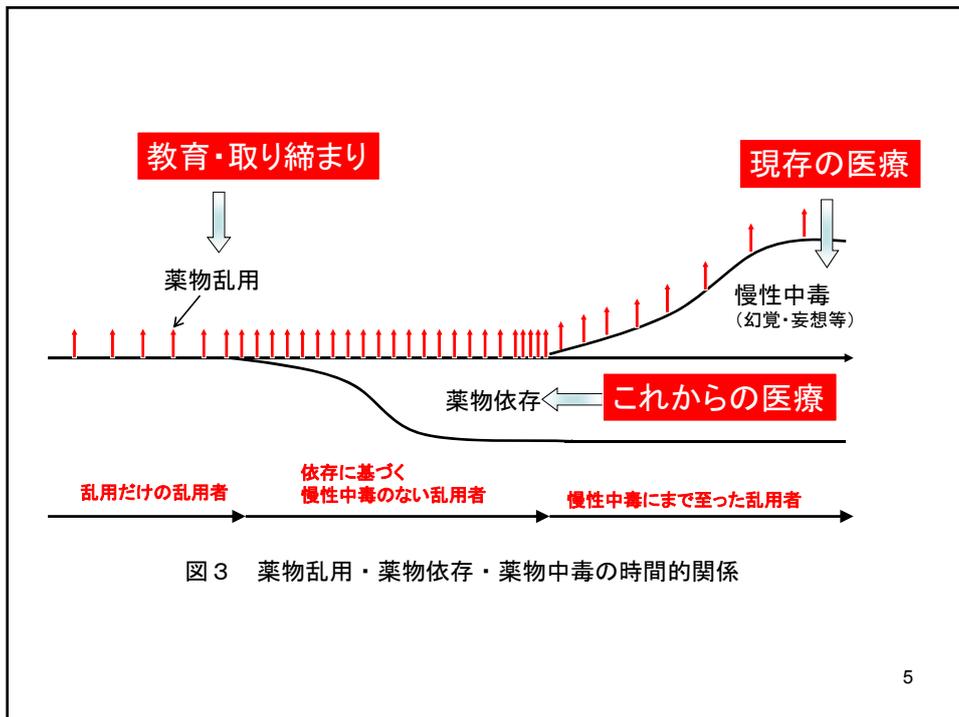
ドーパミン作動経路が主座と考えられており、覚せい剤などの刺激薬では、腹側被蓋野のA10領域に起始して側坐核、嗅結節、尾状核—被蓋（大脳基底核）の腹側線条体部へ投射している系が重要視されている。

3

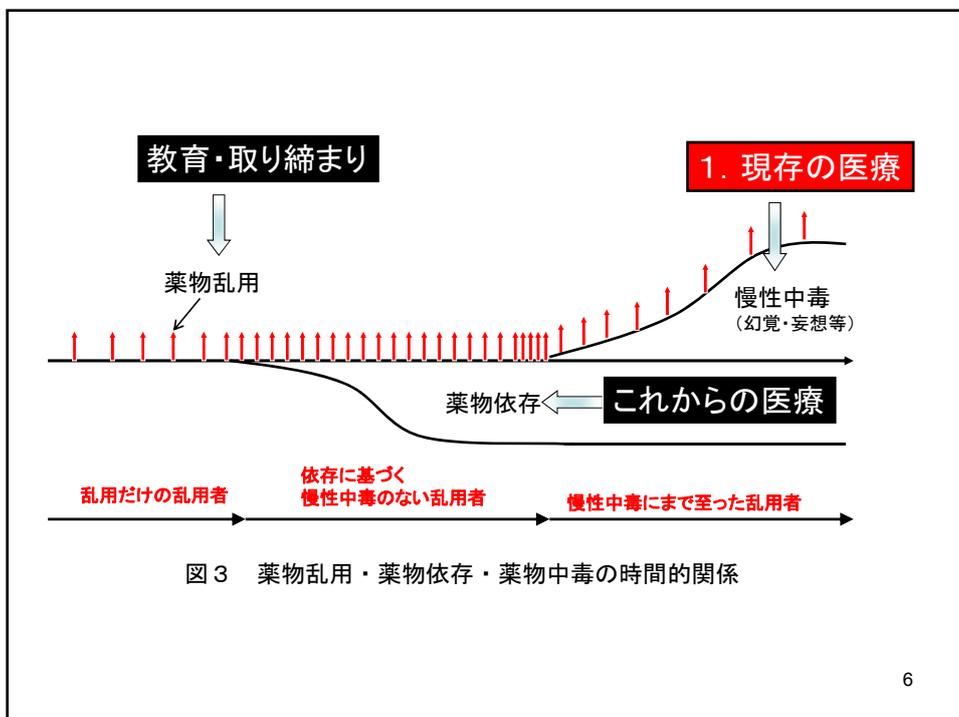


もぐら叩きの機械(薬物依存症)をなんとかしないと
もぐら(薬物乱用)は際限なく現れます

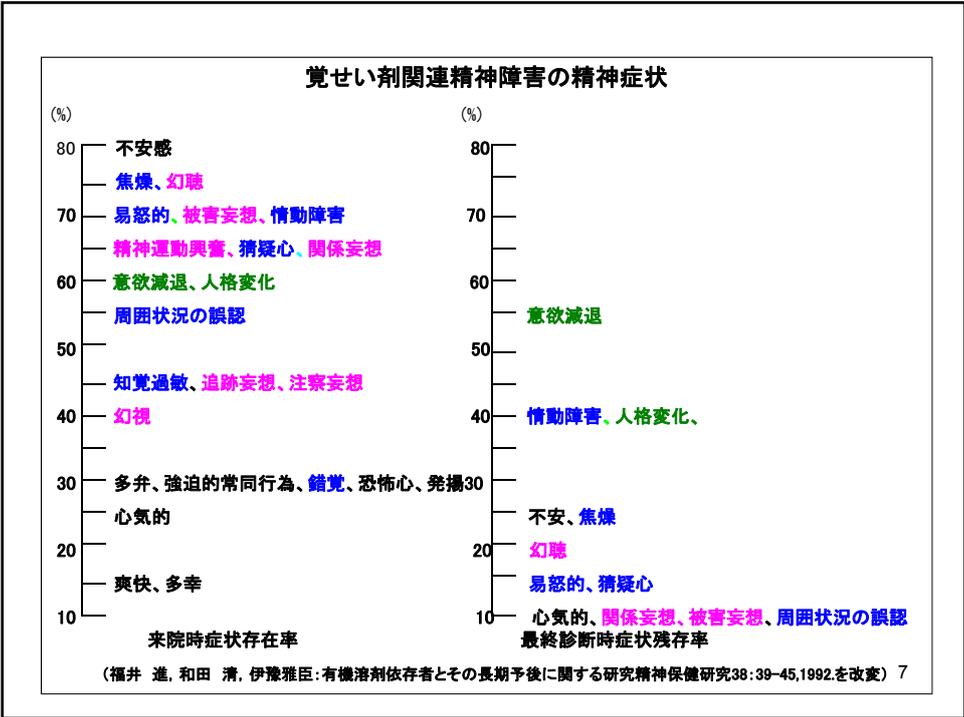
4



5



6



専門病棟等の状況（平成22年6月30日現在）

	アルコール		薬物	
	病棟数	病床数	病棟数	病床数
大学付属病院	0	0	0	0
国立病院等	2	98	0	0
都道府県立・政令市立病院等	6	225	0	0
その他の公立病院	0	0	0	0
指定病院	31	1695	0	0
非指定病院	18	1012	1	70
合計	57	3030	1	70

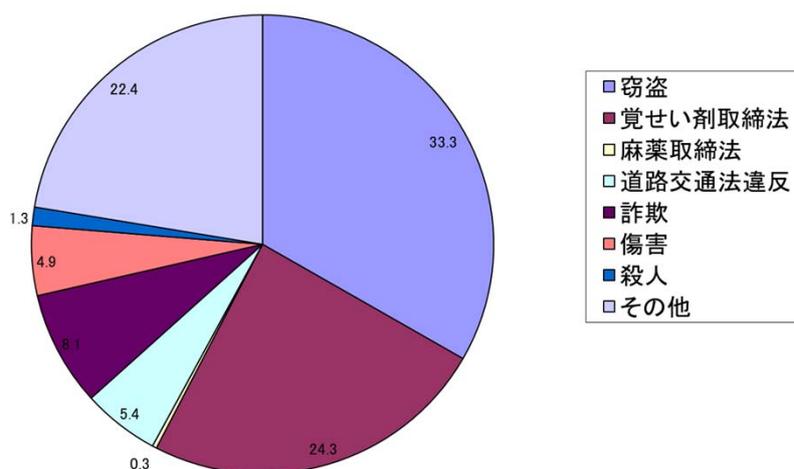
治療施設の実情 （平成21年6月30日現在）

- ・入院患者総数： 310,738 人
統合失調症圏 59.1%, 器質性精神障害 20.7%
- 精神作用物質による患者： 14,611 人 4.7%
- 「アルコール」患者： 13,266 人 4.3%
- 「覚せい剤」患者： 671 人 0.2%
- 「その他」患者： 674 人 0.2%

- ・精神科病院数： 1,636 施設
- このうちの4施設(全精神科病院の0.2%)で
- 精神作用物質関連患者： 469人 (全体の 3.2%)
- 「覚せい剤」患者： 83人 (全体の12.4%)
- 「その他の薬物」患者： 21人 (全体の 3.1%)
- 「覚せい剤」+「その他の薬物」： 104人 (全体の 7.7%)

9

新受刑者の罪名別構成比 (2010年、27,079人)



10

1. 入院医療施設に対する対策

- 地域ごとの基幹病院の整備
 - ・基幹病院の指定
 - ・治療内容の整備
 - ・ワークブックを使った認知行動療法
 - ・人員の確保
- 上記を確保するための診療報酬改正

11

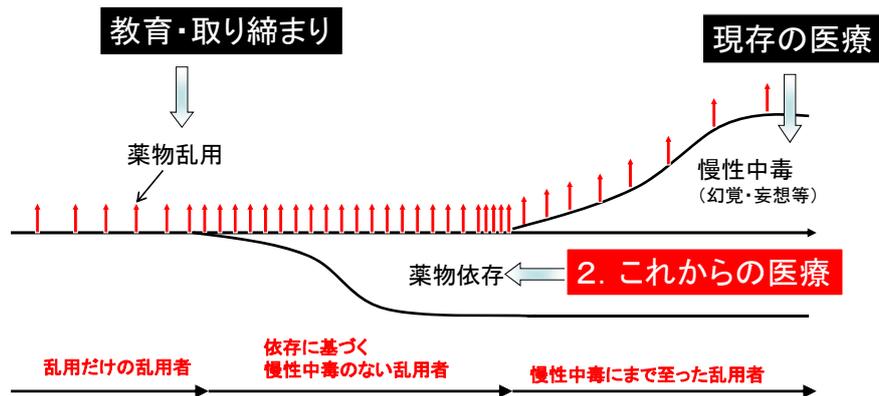


図3 薬物乱用・薬物依存・薬物中毒の時間的關係

12

治療に関する実態調査(2007)

- ・ 409施設より回答
（国公立・大学病院:283施設, 民間:304施設）
- ・ 過去1年間における診療実績:あり(65.6%)
- ・ 薬物関連精神疾患の治療に関する役割分担:
専門医療機関に任せるべき(46.3%),
一般精神科医療機関も一定の役割を果たすべき(48.9%)
- ・ 治療プログラムの有無:なし(74.0%)
特化されたプログラムあり: 5.1%
アルコール依存症の物を利用: 13.6%
アルコール・薬物共通の物を使用:7.2%

13

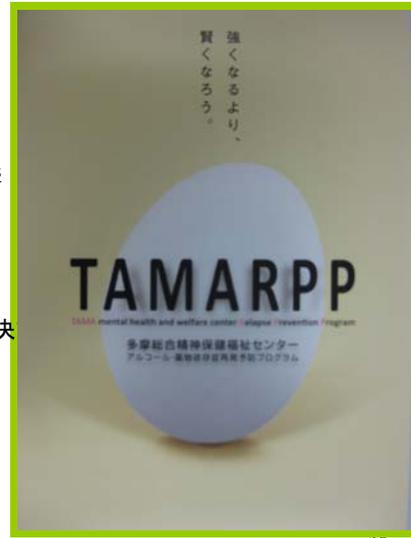


14

ワークブックの内容

目次

- はじめに
- 参加ルール
- スケジュールとカレンダー
- 第1回 アルコールや薬物が脳に与える影響
引き金と渴望
- 第2回 思考停止法
外的な引き金と内的な引き金
- 第3回 回復の地図
回復初期によく起きる問題とその解決
- 第4回 自助グループと12ステップ
- 第5回 思考・感情・行動
アルコールについて考える
- 第6回 再発を防ぐためにーその1ー
- 第7回 再発を防ぐためにーその2ー
再発を防ぐためにーその3ー
- 第8回 強くなるより賢くならう



15

SMARPPなどの「薬物依存症に対する認知行動療法プログラム」の国内実施状況 (2012. 11. 15現在)

都道府県	医療機関 32施設	保健・行政機関 9施設	民間非医療機関 12施設	司法機関 10施設
北海道	旭川市立総合医療センター 旭川市立病院 旭川市立東区病院 旭川市立西区病院 旭川市立東区病院 旭川市立西区病院			
東北	仙台市立総合医療センター 仙台市立病院 仙台市立東区病院 仙台市立西区病院 仙台市立東区病院 仙台市立西区病院			
関東	東京都立総合医療センター 東京都立病院 東京都立東区病院 東京都立西区病院 東京都立東区病院 東京都立西区病院			
中部	名古屋市中区総合医療センター 名古屋市中区病院 名古屋市中区東区病院 名古屋市中区西区病院 名古屋市中区東区病院 名古屋市中区西区病院			
近畿	京都市立総合医療センター 京都市立病院 京都市立東区病院 京都市立西区病院 京都市立東区病院 京都市立西区病院			
中国	広島市中区総合医療センター 広島市中区病院 広島市中区東区病院 広島市中区西区病院 広島市中区東区病院 広島市中区西区病院			
四国	高松市立総合医療センター 高松市立病院 高松市立東区病院 高松市立西区病院 高松市立東区病院 高松市立西区病院			
九州	福岡市立総合医療センター 福岡市立病院 福岡市立東区病院 福岡市立西区病院 福岡市立東区病院 福岡市立西区病院			

16

2. 通院医療施設に対する対策

- ワークブックを使用した認知行動療法の普及
- そのための診療報酬の改正
- 民間リハビリテーション施設、自助グループとの連携の促進

17

3. 家族への対応について

■ 家族支援の重要性

- ・薬物依存症本人の回復に対して、家族が及ぼす影響が少なくない。
- ・家族は疲弊困憊しており、家族自身の精神的・身体的健康を回復させる必要がある。

めざすもの：

本人も家族も

回復支援グループに繋がることを目指す。

18



4. 地域医療・社会復帰対策の強化

- 外来医療、入院医療
- 民間リハビリテーション施設、自助グループとの連携強化 → 財政的援助
- 精神保健福祉センターの機能強化
 - 相談業務の強化
 - 民間リハビリ施設、自助グループとの橋渡し・連携の強化
 - 家族教室の見直しと強化
 - ワークブックを使用した認知行動療法の実施
→ そのための人員・予算の整備

20